

(5月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		9,589	100	9,650	85	100	82	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は4月後半から入荷量が増加。5月中下旬にはピークに入ると予想される。 入荷量、価格とも前年並に推移するものと予想される。
にんじん		7,486	97	7,957	217	65	160	-	-	徳島、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。徳島産は、作付けが増えて生産量は前年を上回っている。肥大はややばらつき、B品が多いと予想される。出荷ピークは5月中旬まで続き、下旬には減ってくる。千葉産は徐々に生産量が増え、ピークは6月上中旬と予想。5月の出荷量は前年並。 全体の入荷量は前年をやや下回る見込み。価格は高値だった前年を下回る見込み。
はくさい		6,096	99	6,364	54	111	57	-	-	茨城産中心の入荷で全体の9割以上を占める。出荷ピークは4月中旬から5月連休明け頃まで。生育は順調で肥大は平年並。 全体の入荷量は前年並で、価格は前年より上回る見込み。
ほうれんそう		1,727	102	1,645	393	95	404	1	0.1	埼玉、茨城など関東産と岩手産などの東北産が市況をリードする。埼玉産は3月下旬の強風の影響が一部に見られるが生育は順調。5月は前年を上回る見込み。 岩手産は生育は順調で、4月末頃に一旦ピークが来て5月も増えながら推移。品質は良好。 全体の入荷量は前年をやや上回る見込み。価格は前年をやや下回る見込み。
キャベツ類		16,860	100	16,944	72	104	81	-	-	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約7割を占める。千葉産は、4月末から入荷量が増加し、連休絡みでピークを迎え、5月末まで続く。 神奈川産は出荷ピークが4月中下旬で、5月は減りながら推移。肥大は良好で、5月の出荷は平年並の見込み。 全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。
ねぎ		4,373	102	4,377	380	66	283	3	0.1	千葉、茨城、埼玉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は、出荷ペース、入荷量とも前年並。 茨城産は生育は順調で、夏葱のロットが増えるのは5月連休明けから。作柄については前年並の見込み。 埼玉産も暖冬傾向により肥大は進んでおり、2L中心の出荷。作柄は前年をやや上回る見込み。 全体の入荷量は前年よりやや多く、価格は前年を下回る見込み。

(5月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		8,339	98	7,690	104	115	143	-	-	<p>長野、茨城産中心の入荷で全体の約7割を占める。長野産は4月末から出荷が始まり、出荷量はほぼ前年並。5月連休明けからピークに入り6月中旬までで6月いっぱい切れ上がる。</p> <p>茨城産は連休明け頃にピークとなるが総じてだらだらペース。5月は前年並の入荷見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。</p>
きゅうり		8,368	101	8,382	200	103	200	23	0.3	<p>埼玉、千葉産中心の入荷で全体の約6割を占める。埼玉産は、4月に入ってから好天で順調であり樹の状態は良く、5月、6月は前年並の入荷が見込まれる。</p> <p>千葉産は天候に恵まれて出荷は順調であり、5月中旬までピークが続く。12月からの越冬きゅうりは終盤を迎えるが、夏きゅうりも出回ってきた。価格が安くなれば早めに切れ上がると予想される。</p> <p>全体の入荷量はほぼ前半並、価格は前年をやや上回る見込み。</p>
なす		3,318	100	3,674	343	96	301	-	-	<p>高知産、福岡産中心の入荷で全体の約6割を占める。高知産は順調に増えてきており、5月、6月が年間の出荷ピークで、5月は前年並の入荷が見込まれる。</p> <p>福岡産は入荷減の傾向で推移してきたが、5月に入ると出荷量は回復することから前年並の入荷が見込まれる。5月、6月が年間でもっとも出荷量が多く、7月中旬で切りあがる。</p> <p>全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。</p>
トマト		9,149	102	9,591	270	96	260	5	0.1	<p>千葉、愛知、福岡産中心の入荷で全体の約3割。大きくシェアを占める産地がない。千葉産は5月に入れば前年並に回復。品種は「麗容」が70%を占める。</p> <p>愛知産は5月連休明けから出荷が回復し、L中心で前年並の出荷。5月の出荷は前年並かやや少ない見込み。品種は「桃太郎ファイト」。</p> <p>福岡産は4月中旬から増え始め5月連休から出荷ピークとなる。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。</p>
ピーマン		2,463	98	2,643	352	99	289	-	-	<p>茨城産中心の入荷で全体の約8割を占める。茨城産は天候の安定により生育は順調である。3月4月は生育が遅れて少なめの出荷であったが、5月の連休明けにはほぼ前年並の出荷ペースになる見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや下回り、価格はほぼ前年並の見込み。</p>

(5月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ばれいしょ		10,697	97	10,373	121	120	136	-	-	<p>長崎、鹿児島産中心の入荷で全体の約7割を占める。長崎産は4～5日程度の生育遅れが見られるが、5月は連休明けからピークとなり、出荷量は前年をやや下回る見込み。</p> <p>鹿児島産は生育は前進傾向であり、4月中旬からピークとなった。5月中旬までは潤沢な出荷が見込まれる。5月の出荷量は前年を下回る見込み。</p> <p>全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。</p>
たまねぎ		15,162	105	14,625	72	115	76	-	-	<p>佐賀産中心の入荷で全体の約7割を占める。佐賀産の新たまねぎの作型は極早生が増えて早生は減っている。出荷量は前年をやや上回る見込み。</p> <p>全体の入荷量、価格とも前年を上回る見込み。</p>